広報ほうじょう

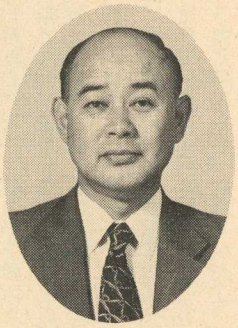
町の人口

（昭和54年8月31日現在）

		前月比較
男	3,876	（0）
女	4,126	（-1）
計	8,002	（-1）
世帯数	2,371	（+5）

四期目に臨んで

町長　中島義章



日中はまだ残暑を感ずる季節ですが、町民の皆様には益々御清祥のことと、お慶び申し上げます。

私、去る九月二十三日の町長選挙において、無投票当選の栄に浴し、引続いて町政を担当させていただくことになりました。

時あたかも産炭地市町村にとって重大な時局に立ち至っております。

すなわち産炭地域浮揚のための関係法律

※産炭地域振興臨時措置法
（昭和五六年一一月一二日）
※石炭及び石油対策特別会計法
（昭和五七年三月三一日）
※炭鉱離職者臨時措置法
（昭和五七年三月三一日）
※臨時石炭鉱害復旧法
※石炭鉱害賠償等臨時措置法
（昭和五七年七月三一日）

が、ここ三年以内にほとんど期限切れになるということでございます。

もちろんこれらの諸法律が失効すると、方城町の振興に大きな障害になることは、火を見るより明らかであります。関係市町村、関係組織、地域住民会議など、あげて法延長に努力しておりますのでなんらかの措置がはかられる状勢ではありますが、この数年間の内法律の存在中に我々の方城町が、解決しておかねばならない問題がたくさんあります。

一、失業者対策
二、鉱害復旧
三、農業振興
四、住宅整備
五、下田川公立病院の建設
六、町財政の健全化
七、人づくり

等でございます。

町民の一人ひとりが、方城町は住み良いところだと思える町づくり。

町民の一人ひとりが、方城町であることに誇りを持てる、そんな方城町にするために、私達は全力投球をしてがんばらなければなりません。

与野党を問わず、私に対し初心に帰れと要求しております。

謙虚な気持で町民皆様の声に耳を傾け、自己反省をしながら町政に携わることをお約束して、ごあいさつにかえさせていただきます。

（昭和五十四年九月二十九日）

――一〇〇年の顔――

大字伊方犬星、赤松キクさん（一〇〇才）当町の長寿番付一番だ。一世紀にわたる風雪に耐えた顔、苦難にへこたれない楽天主義は光栄ある町の歴史を築いてきた先人の持ち味であり、貴重な遺産である。

赤松キクさんに聴く

（大字伊方犬星　明治十二年二月三日生）

◎　特別の健康法？

特別にそういう事を考えて行動している訳ではありませんが、出来るだけ体を動かしています。庭のそうじと草取りは、私が一切引き受けてやっております。（庭にはほとんど草がない）

◎　好きな食物？

特別に好きな食物といっても、思い浮びませんが、私は嫌いな食物はありません。何でも感謝しながらいただいております。

◎　楽しみ

耳が遠いのでテレビはあまり見ませんが相撲が好きでよく見ます。

（家族の人の話によれば、力士の名前は覚えていないようだが、北ノ湖、輪島が土俵に上がれば、顔を覚えていて一生懸命応援するという。）

◎　やりたいこと

畑仕事が好きでしてみたいのですが……（現在、車庫等が建ったため畑はない）

ひっくり おしゃべりインコ

きゅうかんちょうが、人間の言葉をしゃべるのは珍しいことではないが、インコ（ダルマインコ）が、お早う!!といったのでびっくり……。」

このインコを飼育しているのは伊方倉石社宅の高山美智子さん。六ケ月前より飼いはじめたものです。現在はお早う、という言葉だけしかしゃべりませんが、次第にレパートリーを広げていくことでしょう。なおこのインコの愛称は『きゅうちゃん』と呼ばれておりきゅうちゃんお早う、といえば、元気で可愛い声が「お早よう」と帰ってくる。

家族の一員のように可愛がっている高山さん、どこに行くにも一緒だ。ちょこんと肩に乗ってあいきょうをふりまいている。

動物愛護週間にちなんで、町で拾ったホットな話題でした。

郵便局の簡易保険積立金 十二兆円突破について

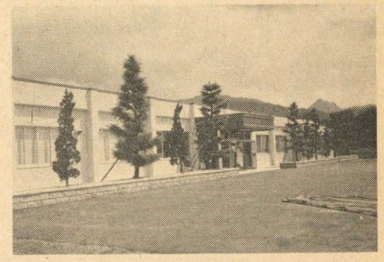
国民の皆様に親しまれてきました「郵便局の簡易保険」は、毎年四百万件以上の新規加入をいただいておりますが、おかげさまで、資金総額が、去る八月二十七日に十二兆円に達しました。一口に十二兆円といっても見当がつきませんが、国民一人当たり約十一万円のお金を簡易保険に預けているのと同様の勘定になり、その膨大さがご理解いただけると思います。

では、この簡易保険資金はどのように扱われているのでしょうか。皆様が日常何気なく利用されている鉄道や道路あるいは県や市町村で建設する学校や住宅、公園等に融資され、豊かな町づくり、住みよい社会づくりに役立っております。

当方城町にも五十四年度中に公営住宅建設事業等に四四、五〇〇万円が融資され、総額で一七三、二四〇万円となっております。

郵便局としましては、これを機会に簡易保険の一層の普及を図り国民生活の向上、発展に役立つよう、さらに努めてまいります。

おめでとう県知事表彰受賞 永末義雄さん



去る九月二十日福岡県老人福祉大会記念式典において、上弁城の老人福祉連合会単位会長永末義雄さんが県知事より特別老人福祉の増進に貢献された功績にたいし表彰を受けました。

これは方城町老人クラブ連合会にとりまして本当にうれしいことです。

今後共福祉向上のための御活躍を期待しています。

米寿（八十八才）者に対する記念品の贈呈について

郵便局の簡易保険では、本年も米寿（八十八才、明治二十四年生れの方）を迎えられた方を対象に米寿を祝して次の方々に郵政大臣から記念品が贈呈されました。

記

米寿者御氏名

永末フサノ　様

栗田　ヨ子　〃

草場オサメ　〃

加来　フミ　〃

三代　一　〃

木村　茂市　〃

奥川もく次郎　〃

金田郵便局

特別養護老人ホーム 方信園新設

当町にはすでに、特別養護老人ホーム「福智園」（収容人員一〇〇名）が上弁城にありますが、この度東古門地区（東古門町営住宅の近く）に、特別養護老人ホーム「方信園」が新設されました。

施設の概要は次のとおりです。

建坪　一、四六二㎡

構造　鉄筋コンクリート造、平家建

収容人員　五〇名

道路標識週間　10月15日～20日

見落とさないで！

道路標標（とくに案内標識）は私たちの〝足〟の大切なガイド役をしてくれます。

俳句

夕立や　八十路の私をさわがせる

一日を二日に暮らす昼ねかな

長雨でよろこんだのは草ばかり

初秋やガス鉄砲で目をさまし

あらうれし二百十日に風もなく

中原　末松　栄

お互いの人権を尊重し、差別のない町づくりを

優勝は久六常会 第十一回町民運動会

晴天に恵まれた九月九日、第十一回町民運動会が開催され白熱の競技が展開されましたが、優勝の栄に輝いたのは久六常会でした。

年々参加常会が増加していますが今年は28常会の参加でした。小学生より老年まで幅広い選手の競技がくりひろげられましたが特にリレー競走などでは、ランナー（走者）が出場した常会の前を走る時は、（たとえその走者が最終であっても）選手に送る声援がグランドいっぱいに響きわたる。

方城町も施設面においてはある程度完成した。「町民センター」として、町民グラウンド、町民体育館、教育委員会、老人福祉センター、町民プール、中央公園、等。今度はこの施設を通して、コミュニティ（近隣社会）活動を推進し明るく住みよい町づくりをしなければならない段階に来ていると思われるが、年々発展して行く町民運動会もこのコミュニティづくりの一環として大きな役割を果たしているのではないでしょうか。

なお成績は次のとおりです。

☆優勝　久六常会

☆準優勝　迫常会

☆三位　山ノ手常会

☆職域団体対抗リレー

男子の部

（Aパート）

1位　方城町職労

2位　久喜建設

3位　教育委員会

4位　伊野組

5位　バトミントン教室

6位　中村建具

7位　中村設備

8位　早朝ソフトボールチーム

（Bパート）

1位　町内教職員

2位　朝部総建

3位　体協

4位　山口組

5位　町青年団

6位　野添親友会

7位　からおけ友の会

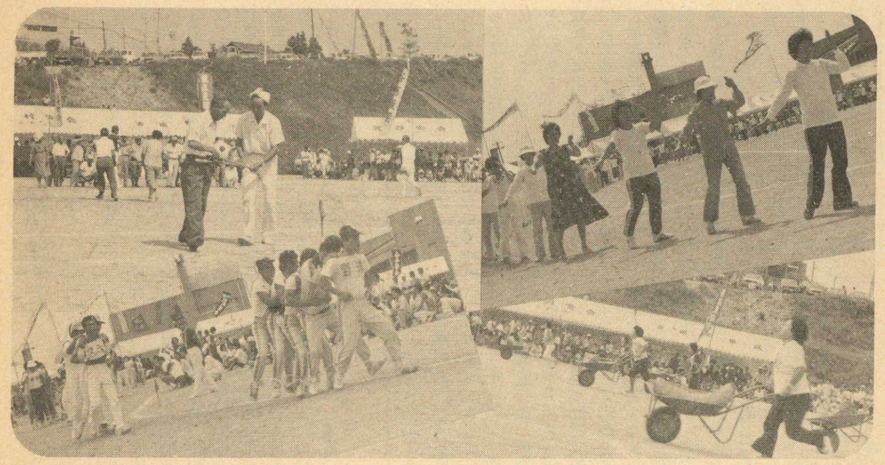
女子の部

1位　町青年団

2位　バトミントン教室

3位　日立マクセル

4位　ママさんバレー



第11回　町民運動会得点表

昭和54年9月9日

種目＼常会名	丸山	犬星	迫	中古門	野添	東古門	宝珠	浄万寺	春田	大里団地	後谷	東区	前村	鶴ケ丘	中原	古開団地	西古門	広谷	草場	山手	久六	新町	矢久保	新門上	長浦	見六	上弁城	八幡町
青年リレー	7	1	7	4	2	6	5	5	3	5	2	6	6	6	4	3	1	2	×	7	7	5	4	×	3	2	3	4
子供対抗リレー	1	7	5	3	6	6	5	4	2	6	7	7	4	3	2	3	2	1	×	5	7	6	3	2	1	4	4	5
一心同体	5	4	7	4	3	2	6	3	3	1	5	4	5	1	1	2	6	7	3	5	7	4	1	2	6	2	6	7
輪投げ	5	3	4	1	6	3	7	1	2	2	4	7	2	2	5	7	4	6	6	7	4	3	6	1	5	1	5	3
百足競走	7	6	7	5	4	5	3	1	1	2	7	1	2	6	3	4	3	5	2	7	6	3	2	5	4	1	6	4
220才リレー	3	7	6	3	5	4	4	1	5	1	7	6	2	4	2	5	3	1	1	7	4	6	7	2	3	2	5	6
中間得点	28	28	36	20	26	26	30	15	16	17	32	31	21	22	17	24	19	22	12	38	35	27	23	12	22	12	29	29
俵はこび	6	4	5	4	2	1	7	4	6	2	3	5	1	7	6	2	4	7	×	3	6	7	2	3	5	1	3	5
一輪二脚	3	2	6	3	5	6	7	2	6	4	7	5	2	4	7	3	5	3	1	4	7	6	1	1	4	2	5	1
常会対抗リレー	6	6	6	5	5	1	4	3	1	2	7	7	6	3	3	4	×	4	×	7	5	4	5	×	2	1	2	7
合計得点	43	40	53	32	38	34	48	24	29	25	49	48	30	36	33	33	28	36	13	52	53	44	31	16	33	16	39	42
順位	8	10	2	19	12	15	6	25	22	24	4	5	21	14	16	17	23	13	28	3	1	7	20	26	18	27	11	9

お知らせ

あなたのやさしさを隣人に―
赤い羽根「共同募金運動」

今年も十月一日から、赤い羽根の「共同募金運動」が始まります。この運動は、お互いの助け合い精神によって、わたしたちの手で、めぐまれない人たちの生活の向上をはかるなどの福祉活動に必要な資金を集めるものです。

この運動のシンボルである赤い羽根は、困ったときはお互いに助け合いながら、住みよい地域社会をつくろうというボランティアの心を表したものです。

昨年は、全国で約百四十三億円の募金が集まり、生活に困っている人や社会福祉施設などに配分されました。

百四十三億円といいますと、国民一人当たりにして百四十二円の募金をいただいたことになります。共同募金の運動母体である社会福祉法人中央共同募金会では、いまの十倍、約一千億円（国民一人当たり千円）達成をめざして、みなさんのご協力をよびかけています。

方城町における五十三年度の募金目標額は、七十五万七千百円で、これに対する実績募金額は、百三万四千三百九十円でした。（内訳一般募金五十四万三百九十円、会社等募金三十二万三千円、バッチ募金十六万四千円）

皆様方の絶大なるご協力を得まして、目標額を大きく上回ることができました。厚くお礼申し上げます。

五十四年度は、五十三年度実績募金額（百三万四千三百九十円）に対し九十二万二千二百円を共同募金会から配分金としてもらうようになっております。

この配分金を方城町共同募金特別会計として、次のように事業予算を計上させていただきました。

老人福祉事業費　三十二万二千二百円
身障者福祉事業費　二十万円
児童青少年福祉事業費　二十万円
生活環境福祉事業費　二十万円

合計　九十二万二千二百円

この予算額の内約三十万円は、八月末現在既に予算執行させていただきました。

本年度町の目標額は、百十七万四千五百円一世帯当たりの目安は五百円となっております。

地域の社会福祉を高めるため、この事業をご理解のうえ、皆様の善意とご協力により、本年度も昨年同様目標額を達成させていただきますようお願い申し上げます。

ゴミの不法投棄で　よごすまいわれらの町を!!

家屋の増改築等による廃棄材料や、家庭の出し忘れなどのゴミを山林・河川や空地などに捨てているのを見受けますが、環境が悪くなり衛生的にも悪く、特に河川は私達の暮しに欠かせないみんなの財産です。私達ひとりひとりが日頃から心がけて、空地や河川などに捨てず、きちんと決った収集日に、ゴミを出すようにしましょう。

また、出し忘れたゴミや廃棄材料等については、役場住民課で下田川塵芥清掃センター利用許可証を貰って赤池町にある下田川塵芥清掃センターに持って行って下さい。

不法投棄をすると罰せられます。

※私達の住んでいる町を美しく住みよい環境にするために、一層のご協力をお願いします。

母親学級ご案内

丈夫な子どもを生み育てるために、あなたはいま健やかな赤ちゃんの誕生を待ち望むとともにお産について、いろいろな不安や悩みを、お持ちではございませんか。妊娠・出産・育児の知識を学び、又お友達と悩みを話しあえる母親学級に参加してみませんか。田川保健所では母親学級を開催しております。

申し込み方法　田川保健所又は町役場住民課
場所　田川保健所
期日　第一金曜日・第二金曜日
　第三金曜日
時間　午後一時から三時三〇分

料金　テキスト代三五〇円

移動県政、交通事故相談のお知らせ

県では、次のように移動県政相談、交通事故相談を開設します。

福祉・年金・道路・保健など県政一般に対する意見、要望、苦情や交通事故などの相談に応じます。お気軽にご利用ください。

◎期日　十月二四日（水曜日）
◎時間　一三時から一六時まで
◎場所　田川郡川崎町大字田原七九一～一　川崎中央公民館

※　なお、くわしいことは、県総務部広報室（電話　〇九二・七七一・六〇五〇）におたずねください。

全国防犯運動について

☆期間
　。10月11日（木）から10月20日（土）まで
☆重点
　。あき巣ねらいの防止
　。自転車盗難の防止
☆全国統一標語
　。両隣互にかけあう声とカギ
　。自転車はカギと名前がよい見張り
※あき巣ねらいの防止心得
◎じょうぶなカギで戸締りをしましょう。
　カギのかけ忘れや、カギの設備のないところから侵入するドロボーが一番多く発生しています。
◎ちょっとの外出でも隣に声をかけ、カギを忘れずに。
※自転車盗難防止心得
　自転車は「ちょっと道端にとめていた」「カギをかけていなかった」ものが盗まれています。
◎ちょっとの間でも、必ずカギをかけましょう。
◎名前と防犯登録を忘れずにしましょう。
◎自転車の保管は厳重に。
◎自転車の保管は厳重に。

広報ほうじょう（110号）
昭和五十四年十月一日発行
発行　方城町役場
編集　企画室
印刷　協和印刷